

三次地区拠点施設交流棟飲食出店候補者の選考結果について

1 選考結果

三次地区拠点施設交流棟飲食出店候補者の選考について、公募型プロポーザルを実施した結果、次のとおり、飲食出店候補者として、特定者を特定しました。

特定者	山本 明子（島根県松江市黒田町 442 番地 1）
-----	---------------------------

2 審査経過等

（1）選考審査委員会

専門知識を有する学識経験者、地域団体、地元企業及び行政職員等で構成する「三次地区拠点施設交流棟飲食出店候補者選考審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）を設置し、飲食出店候補者の特定に係る審査を行いました。

[審査委員会委員（順不同・敬称略）]

委員区分	氏名	役職等
委員長	細川 喜一郎	三次市商工会議所会頭
委員	原田 弘子	マネジメントオフィス HARADA 代表
委員	中島 達男	三次地区自治会連合会会長
委員	高樋 美恵子	三次地区ボランティアグループ会長
委員	井上 峯晴	三次本通商店街振興組合理事長
委員	藤井 啓介	（一社）みよし観光まちづくり機構
委員	寺河 未帆	（有）一場木工所代表取締役
委員	楨原 祐美	カップマ編集事務所ルパイン代表
委員	瀬崎 智之	三次市副市長
委員	部谷 義登	三次市財務部長
委員	松長 真由美	三次市子育て・女性支援部長
委員	瀧奥 恵	三次市地域振興部長

（2）審査概要

運営企画書の審査及びヒアリングを実施し、飲食出店候補者の特定を行いました。

[審査経過]

年月日	内容	
平成30年 2月19日	第1回選考審査委員会	募集要項・特定基準の決定
平成30年 3月 8日	募集説明会の開催	出席者7者（8名）
平成30年 3月22日	参加申請書の提出期限	提出者2者
平成30年 5月10日	運営企画書の提出期限	提出者1者
平成30年 5月16日	第2回選考審査委員会	運営企画書の審査・ヒアリング、特定
平成30年 6月上旬	出店予定者決定（予定）	

3 審査の講評

(1) 総 評

今回のプロポーザルは、三次地区拠点施設交流棟の飲食出店候補者について、三次地区拠点施設の利用者の利便性を向上させるだけでなく、それ自身が三次地区拠点施設や地区内の観光資源と一体となって、市民の憩いの場あるいは観光地としての魅力を高める役割を期待し、飲食サービスの提供に関してノウハウや実績のある民間事業者から、飲食サービスの内容や三次地区の文化・観光まちづくりへの直接的、間接的な寄与等について提案を求めたものでした。

審査にあたっては、「提供サービス」として「地域経済への貢献」、「地域ブランド価値への寄与」、「集客への寄与」、「利用者から見たサービスの親切さ・利便性」の4項目、「事業者能力」として「営業実績・経営状況」、「事業計画の妥当性・体制」、「事業者の能力」の3項目について、運営企画書の審査及びヒアリングをもとに、「テナント料」の提案額とあわせて総合的な評価を行い、その結果、飲食出店候補者として特定してよいものと決しました。

(2) 特定者

特定者の運営企画は、全般的に高い評価を得ており、「利用者から見たサービスの親切さ・利便性」と「営業実績・経営状況」の項目が特に高く評価されました。

具体的には、メニュー開発等における柔軟な対応をはじめ、地元食材等を使用して地域と一緒に取り組もうとする姿勢、団体対応が可能であることや木の温もりを生かした店舗づくりなどのサービス面が評価されました。一方で、高齢者の多い地域に受け入れられるか、パート従業員の確保ができるかなどの質疑もありました。自己資金の考え方や運営に取り組む姿勢、フランチャイズ店舗の運営実績など、人柄や体制面は高く評価されました。